

平成25年度

事務事業評価表 A（平成24年度の実績評価）

記入年月日
平成 25 年 4 月 1 日

事務事業名		雨引の里と彫刻展補助金事業				区分		事務事業No.	30213262		
						<input type="checkbox"/> 分野別主要事業 <input type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業		課内No.	62		
		政策体系上の位置付け						主管課			
政策体系	総合計画の施策名	302	生涯学習・芸術文化活動の推進			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画事業		所属部	教育委員会		
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		所属課	生涯学習課 32		
	施策名	2	生涯学習・芸術文化活動の推進			<input type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		課長名	吉原志朗		
	基本事業名	1	生涯学習及び芸術文化活動機会の充実			事業期間		担当者名	飛毛俊浩		
		財務会計上の位置付け									
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計					
	1	10	5	3	1	#N/A					
法令根拠											

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標

手段	① 事務事業の概要(事務事業の内容)	② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動	
	旧大和村から継続している隔年開催の芸術作品の展覧会であり、今回が第9回目となる。会場は大和地区をおおよそ5つのエリアとして巡回し、農村風景の中にある日常空間に彫刻を出現させることで芸術をより身近なものに感じてもらおうことを目的としている。 約3ヶ月間の会期中には、シトラスをガイドンス拠点として活動し、訪問者の案内やレンタサイクルの貸し出し、作家が解説を行うバスツアーなどの企画イベントも開催される。また、大和地区のボランティアによるおもてなしや地元蕎麦のふるまいなども定着化し、地元小中学校では子どもたちが作品を巡る活動なども行われている。	開催に向けての実行委員会への出席。 事業開催の周知と問い合わせ窓口の担当。 作品展示場所の地権者交渉の補助。 会期イベントへの活動支援、助成。	
目的	③ 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑦ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
	市民および市外観光者など	ア 市民 人	
	④ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑧ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
日常生活の環境へ芸術作品を展示することにより芸術鑑賞の機会を身近なものにする。	ア 参観者 人		
結果	⑤ 結果(どんな結果に結び付けるのか)	⑨ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
	芸術への関心を高めると共に地域の魅力の再発見。	ア	

(2) 指標値の推移

区分	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	(目標)	
⑥活動指標	ア 日	90							
	イ								
	ウ								
⑦対象指標	ア 人	45,000			46,000		46,000		
	イ								
	ウ								
⑧成果指標	ア 人	6,000			6,500		7,000		
	イ								
	ウ								
⑨上位成果指標	ア								

(3) 投入量(事業費)の推移

区分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	期間限定 総投入量
事業費	財源内訳	千円							
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	使用料・手数料	千円							
	その他	千円							
一般財源	千円		1,300		1,000		1,000		
事業費計(A)	千円	0	1,300	0	1,000	0	1,000	0	
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	
	述べ業務時間	時間		100		150		150	
	人件費計(B)	千円	0	304	0	456	0	456	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,604	0	1,456	0	1,456	0	
投入量	24年度事業費実績(千円)	25年度事業費 予算(千円)		26年度事業費 計画(千円)		27年度事業費 計画(千円)		28年度事業費 計画(千円)	
		補助金				補助金		1,000	
	合計	0	合計	1,000	合計	0	合計	0	合計

(4) 当該年度の実施内容

	25年度の事業内容	26年度の事業内容	27年度の事業内容	28年度の事業内容
※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する				
分野別主要事業 未来プロジェクト事業 市長マニフェスト事業 合併建設計画事業				

事務事業名	雨引の里と彫刻展補助金事業	事務事業No.	30213262	所属課	生涯学習課
-------	---------------	---------	----------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 旧大和村で創作活動の拠点をおく作家たちが石材から芸術作品を生み出す目的で発足した事業。開始当初から徐々に地域の認知度もあがってきている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 何をイメージしたものなのかわからないなど、作品の意図が知りたい。
 活動内容を知らなかった。 など事業内容がなかなか認識されていないような感じをうける。

【See】 2. 評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

		評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	芸術文化活動機会の充実としての存在価値がある。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	日常生活の環境へ芸術作品を展示することにより芸術鑑賞の機会を身近なものにするためには行政が事業への支援を行うべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	開催の意図を芸術鑑賞の場だけに留まらず、子どもたちに向けて芸術への関心や育成につながるようになればと思う。
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	地域との連携を図ることで事業への関心や関わりが生まれ、地域に根付いた活動になれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	芸術に興味のある方からは廃止されることでせっかくの身近に触れることができる機会を損なうことになる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))	<input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い	具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など))	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	地域との連携を図ることで積極的な事業展開や応援が生まれ、企業や産業との連携により新たな商業の活動が可能になる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	行政を離れた民間主体の事業展開を目指す。
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	広く市民に向けて情報の発信と理解を求めていきたい。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	大和地区では成熟したイベントになっているが、一方ではなかなか発展性に乏しい面もある。 市内に広く広報宣伝し、活動を知ってもらおうと共に芸術文化振興の観点からと観光的価値を創造し 新たな事業展開を行えるように検討すべきであるとする。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
芸術作品への価値観や関心の育成。 連携できる事業内容の検討と連携体制の確立。 食の案内方法やPRの仕方の検討																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>